

中国人観光客の消費パワーをつかむ

株式会社中国市場戦略研究所

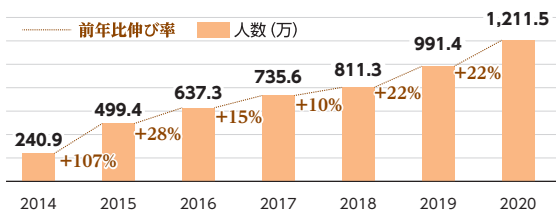
代表 徐 向東

中国人観光客の消費額は、他の国・地域に比べ突出して高い。
この大きなビジネスチャンスはどうすればうまくつかめるだろうか。

東京五輪の年には 1000 万人超

今年上半期の訪日中国人はすでに 405 万人余で、年間 800 万人超がほぼ確実にになっている。このままの勢いで伸び続けると、2 年後の東京五輪の年には、確実に 1000 万人を超えることだろう (図表 1 参照、18 年以降は筆者予測)。

図表 1：訪日中国人観光客推移



国別で断トツ 1 位の消費額

日本政府国土交通省の調査によると、訪日中国人の約 8 割が「観光・レジャー」目的で日本に来ている。しかも 6 割以上がツアーに参加しない個人旅行者で、7 割以上が 20～30 代の若者である。リピーター率も半分近くと高い。17 年の中国人の日本滞在中の旅行支出は 1 人あたり 23 万円 (図表 2)。

図表 2：2017 年訪日中国人の 1 人当たり旅行支出の内訳 (円)

総額	230,382
宿泊料金	47,690
飲食費	38,285
交通費	18,295
娯楽サービス費	5,550
買物代	119,319
その他	1,243

全体では約 1.7 兆円で訪日外国人消費額の約 4 割を占め、国別で断トツ 1 位である。旅行支出の内訳をみると、半分以上が「買物」。

17 年の「買物代」は 8777 億円、他の国・地域に比べ突出して高い。

口コミを通じて「爆買い」に

さて、どんなものを買っているのかというと、約 8 割が「化粧品・香水」、7 割超が「医薬品・健康グッズ・トイレタリー」と「菓子類」だ。理由は、「品質が良い」「価格が手頃・自国より安いから」。所得水準の向上に伴って、健康や美肌に対する意識が高まっている。

日本では消費の成熟化に伴い、健康や美肌の分野においては、高品質の商品がたくさん開発・製造されている。しかも、値段も中国人にしてみれば手頃。こうした日本製品が中国人の口コミを通じて、中国で幅広く知られるようになり、日本での「爆買い」につながったというわけだ。「化粧品」を買った中国人客は、1 人あたりの単価が 4.9 万円、「カメラやビデオカメラ」などを買った中国人は 1 人あたり単価が 6.1 万円と、他の国籍・地

図表 3：2017 年訪日中国人の消費費目

費目	購入率	購入者単価 (円)
化粧品・香水	79.7%	49,153
医薬品・健康グッズ・トイレタリー	73.1%	26,496
菓子類	70.5%	10,858
その他食料品・飲料・酒・たばこ	60.5%	13,278
服 (和服以外)・かばん・靴	44.4%	45,885
電気製品	27.7%	37,227
マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	14.3%	11,228
カメラ・ビデオカメラ・時計	13.7%	61,326
書籍・絵葉書・CD・DVD	10.0%	8,057
和服 (着物)・民芸品	6.9%	13,940